

## 令和4年度 第3回 丸塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月30日（水） 14時25分から15時30分まで
- 2 開催場所 丸塚中学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 稲垣 邦圓、鈴木 悦子、名倉 善郎、酒井 里江子  
宮下 まゆみ、園山 尚俊、田嶋 節子（CSコーディネーター）
- 4 欠席委員 尾上 弘、石川 直明
- 5 学校 高柳 慎二（校長）、青島 正和（教頭）、中井 浩行（CS担当教員）  
石津谷 訓子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
  - （1） ハートセッション参観の感想
  - （2） 報告（これまでの取組について）
  - （3） 学校支援について
  - （4） 学校評価について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 石津谷 訓子
- 10 会議記録

司会の教頭青島から委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

○ 議長の選出について

司会から、尾上副会長が欠席の為、酒井委員が議長をする旨の報告があった。

○ 協議事項

（1） ハートセッション参観の感想

- ・ このような交流会をやっていることを知らなかった。とても有難いので続けて欲しい。普段関わっていない年下の子と急に触れ合うのはなかなか難しい年齢なので、よく頑張っているなと感じた。1時間という時間も良いと思った。（園山委員）
- ・ 初めて拝見させていただいたが、印象に残ったのは「いじめ撲滅宣言」。クラス毎のみんながまとまって、人前で声を出して発表するという事は印象付けに良い方法だと思う。小学生との交流もすごく良いと思うので、ぜひ続けて欲しい。

(名倉委員)

- ・ 以前から何度も拝見させていただいていた。今回は中学生が中心となって進めていたが、以前は小学生が会を進行していくこともあった。小学生は小学校の最高学年として、みんなを引っ張っていくという気概を感じられて良かった。そのような場を作ってあげられるのも良いかなと思った。中学生は2年間のブランクがあったせいか、少し積極性に欠けていたが、時間が経つにつれて段々笑顔が出てきて、小学生に話しかけに行けていたのでとても良かったと思う。(宮下委員)  
→ 今の中学2年生は、コロナの関係で小学6年生の時も経験出来なかった。今回も開催できるか直前まで微妙だったが、今回の経験やご意見を今後の参考にさせていただきたい。(青島教頭)
- ・ 会での中井先生のお話から、大変さが伝わってきた。子供達の柔軟性や、健気さが見られて良かった。音楽でも流した方が動きもスムーズになるのではないかな。人も集中してしまうので体育館全体を使えるような進行の仕方をしたらどうか。「いじめ撲滅宣言」では、いじめをなくすという気持ちを持たせることが大事だと思った。(田嶋委員)
- ・ 中学生も小学生と接触があまりない中で、ゲームを通して縦の繋がりをつくっていく必要性を感じた。(鈴木委員)
- ・ 体育館のトラブルを乗り越えて、完成度を高めてくれた。小学生と中学生が初めはコミュニケーションの取り方が難しい様子だったが、繰り返しやってみることで、笑顔で会話ができるようになっていった。最後は小学生が、中学校生活での心配事や疑問を、素直な気持ちで質問できていたので良かった。(酒井委員)
- ・ アリーナでなく身近な学校の体育館でできるのも良いと思った。中学生がテキパキ行動するのを、小学生が見て学ぶ機会にもなる。学校説明会は他にもあるのか？(稲垣委員)  
→ 春先に生徒が小学校に訪問している。2月に改めて説明会がある。(青島教頭)

## (2) 報告 (これまでの取組について)

担当教員中井から、地域人材活用事例の報告があった。

## (3) 学校支援について

担当教員中井から、教科毎の要望や教科外で活かせるような支援の発表があった。

- ・ 夏休み前に読書感想文や、自由研究の書き方講座があると良い。(園山委員)
- ・ 親戚に救命救急士がいるので、声をかけてみることはできる。(園山委員)
- ・ 放課後の学習補助などは、学校と教え方が違うと生徒が戸惑うのではないかな？教員免許を持っていないとできないのかな？(田嶋委員)  
→ 例えば数学など、小学校の算数から躓いている生徒に基礎を教えて頂けたらいいので、資格は問わない。(高柳校長)
- ・ 前回話をしたマネー講座の件は、浜松磐田信用金庫に確認したところ申請をす

れば対応してくれるとのこと。また、ある地区の元民生委員の方が、遠州綿紬のブックカバーを作る授業をやったという新聞記事があったが、この方に依頼してみることもできる。(酒井委員)

- ・ 社会の戦争体験の話も声掛けができる。(田嶋委員)
- ・ 地元の野菜を作っている方も、お話をしてくれる人がいると思う。ギター同好会の方や、保健師の方にも声掛けができる。(宮下委員)
- ・ 私は発達学級で授業をしているが、いつもセンターでやっている「子ども講座」と同じようにやっている。専門的に教えられる訳ではないのでこれでいいのか？と心配しながらやっている。どのように進めていけばいいのか？(鈴木委員)
  - 発達学級ではもちろん教科もやっているが、生活に関わることの指導も重要になるので、そのままやっていただければ良い。(高柳校長)
  - 先生と長い間過ごすので、学校以外の方と触れ合ったり話したりすること自体が貴重な時間になる。また、まだ確定ではないが、面接練習の面接官役をやっていただくようお声掛けさせていただくかもしれない。(青島教頭)

#### (4) 学校評価について

小川指導主事より、12月の生徒、保護者、教員によるアンケート結果を集計分析し、それについての意見を次回運営協議会にて何う旨の説明があった。

#### ○ その他報告事項等

教頭青島から、次回運営協議会は令和5年2月20日(月)13:30～開催予定である旨の報告があった。また、中井から青少年健全育成会教育講演会の案内があった。